

コロナ禍での避難のあり方を考える

—町総合防災訓練—

10月18日、南海トラフ地震による各種の災害発生を想定し、例年とは違った形での町総合防災訓練を行いました。

今年度は、町職員を中心に参加機関が一体となり、避難所における新型コロナウイルス感染症対策を主眼として実施しました。

北小学校を主会場に、各地区公民館や総合町民センター、道の駅「パレットピアおおの」、福祉避難所の各施設にて事前受付・総合受付、簡易テント、段ボールベットの組み立てや物資運搬訓練等の訓練をし、新型コロナウイルス感染症の感染拡大と感染予防が懸念される状況下においての避難所開設や運営について問題提起や解決策等を検討することができました。



▲訓練終了式（北小学校）



▲事前受付訓練（各地区公民館）

〈町民の皆さまへ〉

新型コロナウイルス感染症第3波の到来やインフルエンザの同時流行に備え、日頃から「新しい生活様式」を踏まえた避難先の検討や備えを考えましょう！



▲消毒用噴霧器訓練



▲間仕切り組み立て、設置訓練（各地区公民館）



▲障がい者、高齢者等誘導訓練（各地区公民館）



▲福祉避難所への手順・移送方法確認訓練